



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2011.11

No.331

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



あなたの声をお聞かせください

日本野鳥の会埼玉 編集部

先月号4ページで、野鳥情報、表紙の写真、特集記事の募集をしました。今月号では、その中の特集記事について、さらに具体的な内容を明示して会員皆様の声を募集します。

●会員'増'大作戦

まずは、下のグラフをご覧ください。1999年からの4月1日現在における(2001年は4月2日)日本野鳥の会埼玉、会員数の推移です。

最高は3,087名。1998年8月1日と1999年4月1日に記録しました。以後、減り続け、2,000名を切ったのが今年の6月1日、そして今月号の連絡帳によると10月3日現在1,969名です。

数はパワーです。私たちは、いうまでもなく野鳥を通してより多くの人々と地球を守る会員です。パワーが3分の2に落ちてはいけません。

どうぞ、あなたの会員を増やす方法、作戦、考え等々をお寄せください。

字数：800字程度。

締切：2012年1月10日。建設的な意見を

3月号に掲載予定です。なお、頂いたご意見は全て役員会にも目を通してまいります。

なお、9月4日のリーダー研修会で会員

減の現状を訴えたところ、早速長嶋さんから今月号4ページの「会員増対策」が送られてきました。ご参考にしてください。

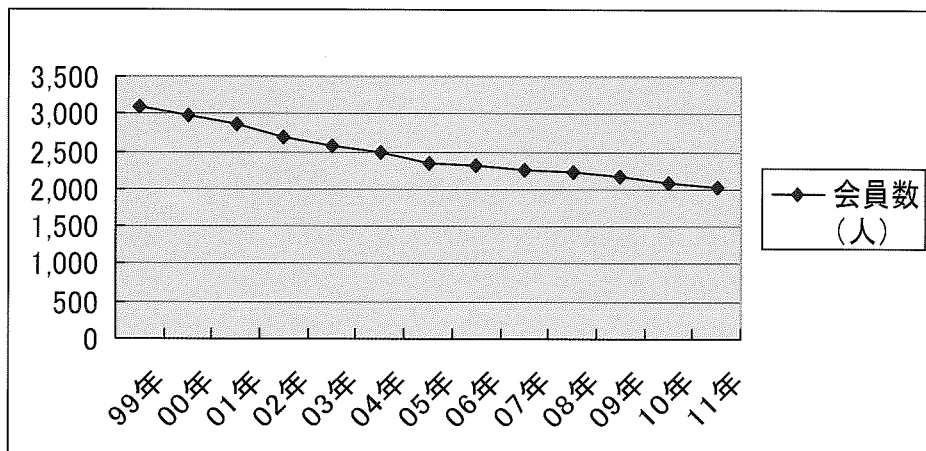
●最寄りのIBA公園のフィールドガイド

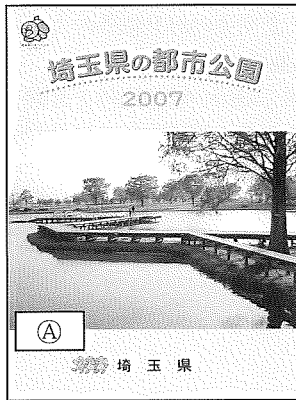
野鳥の会では「鳥類を指標とした重要な自然環境」を選定し、それらを重要野鳥生息地 IBA (Important Bird Areas) としています。しかし、私たち会員にはそれぞれ自分の IBA があります。つまりマイ・フィールドです。そのご紹介をお願いします。

自分が大切にしている観察地の記録を誌面に残すことは大変貴重です。ここに、これこれの鳥が、この季節にいた、というデータがあれば、環境を守る大きな武器にもなります。

もし、今から自分の IBA を作るとしたら、「埼玉の都市公園 (写真㊸)」が参考になります。少し古い資料ですが埼玉県が編集発行しており、最寄りの役所等に置いていると思います。最新の資料は、[埼玉県都市公園](#)で検索できます。

この資料を見ると、県内約 30 ヶ所の県



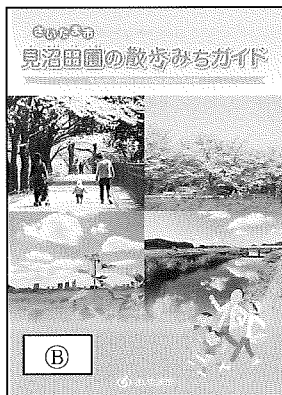


営・国営の公園が、詳細な地図と航空写真、景観、アクセス方法等で紹介されています。

特に参考になるのが航空写真です。これで野鳥がいそうかどうかの予想がで

きます。

- ① 中央エリア：大宮公園、戸田公園、上尾運動公園、秋ヶ瀬公園、北浦和公園、北本自然観察公園、埼玉スタジアム 2002
- ② 西部エリア：森林公園緑道、(国) 武蔵丘陵森林公園、所沢航空発祥記念公園・所沢航空発祥記念館、こども動物自然公園、吉見総合運動公園、川越公園、和光樹林公園、新座緑道、彩の森人間公園、狭山稲荷山公園
- ③ 東部エリア：久喜菖蒲公園、さきたま古墳公園、さきたま緑道、花の里緑道、しらこぼと公園、羽生水郷公園・さいたま水族館、みさと公園、加須はなさき公園、吉川公園、権現堂公園、まつぶし緑の丘公園
- ④ 北部エリア：荒川大麻生公園、熊谷スポーツ文化公園
- ⑤ 秩父エリア：秩父ミュージアムパーク 等



また、さいたま市都市計画部みどり推進課発行の『さいたま市見沼田圃の散歩みちガイド』(写真⑧)も参考になります。

①盆栽村と鉄道の風景、②芝川土手と斜面林、③田圃風景と新都心の眺め、④氷川女体

神社と歴史、⑤農と見沼代用水の原風景、⑥見沼代用水の原風景の6コースに分かれて紹介されており、それぞれのフィールドガイドができれば最高でしょう。

さらに、そのフィールドガイドを発行元にも提供すれば、4ページの長嶋さんの提案1にも合致し、会員増のきっかけともなるものと思います。

字数：2500 字程度。

締切：あなたの記録がまとまり次第。できれば、その近くで探鳥会がある月に間に合うように(およそ1ヵ月前)寄稿して頂ければ、探鳥会案内の中でも紹介ができます。

●鳥の行動あれこれ特集

たとえば、

*鳥の涙ぐましい“婚活”特集

2011年5月号特集「キジのほろ打ち、世の中の役に立たない数字」など、涙ぐましい“婚活”の一例ですね。

*「私はこうして、ダメされた！」

カケスやモズなどの鳴きまね特集

*鳥の食べ物・食べ方特集

*おバカな鳥特集

以前、浮島で、道路の真ん中で首を伸ばして警戒行動をしているオオヨシゴイを見て、笑いました。

等々、長年、鳥を見ていれば誰でも、1つや2つ、鳥の面白いネタを持っていると思います。また、鳥の行動記録は貴重なデータにもなります。

字数：400～2500 字程度。

締切：3～4ヵ月に1回ぐらいの割合で、テーマごとに特集として掲載予定です。募集をお見逃しなく!!

●原稿の送り方

メールで yamabezuku@hotmail.com へ。または事務局に郵便で送ってください。

『しらこぼと』は、会員みんなのもです。たくさんの方々の声をお待ちしています。

「会員増対策」の提案

長嶋宏之(蓮田市)

数年前までは、初めて探鳥会に参加する人が必ず数名はいたものである。昨今の私が知る範囲の探鳥会では、そのような人はめっきり減少している。全くいないときもある。

では、野鳥観察に関心を持っている人が減少したのだろうか？ 私は下記のことから潜在的に多くのファンがいると確信している。

私は、個人的な自然観察会(探鳥会)を3箇所で行っている。そこに参加する方は10~20名程で野鳥の会の会員ではない。カメラマンでもなく全くの初心者である。その参加者は自然観察会(探鳥会)が終わる頃には、野鳥の魅力に取り付かれ、目が輝いていて必ずと言っていいほど次の質問をしてくる。

①次はいつですか？

②何処でいつ自然観察会(探鳥会)が開かれるのかを知る方法を教えてください。

③予約は要らないのですか？

その都度、野鳥の会への入会と野鳥の会やその探鳥会を主催した管理団体のHPを紹介しているが、私がかつてそうであった様に野鳥の会への入会は敷居が高く感じられるようで、その場での入会者は稀である。しかし自然観察会(探鳥会)開催情報を欲しがっていることは確かだ。

当然のことだが、『しらこぼと』は会員の間のみ情報が流れ、会員以外には情報が流れない。

先の自然観察会(探鳥会)に参加した人は、会報『しらこぼと』以外の情報で開催を知った人達である。

私以外にも定例的に私的探鳥会を開いている人がいると聞く。そこには会員以外の人が集まってきていると思われる。野鳥観察に興味を持っている人はいるのである。会員以外の参加者を探鳥会に集め、探鳥会を通して野鳥観察の楽しさを知ってもらい、会員を増やす事が地道ではあるが正道のような気がする。

質問は多くのことを示唆していると思う。

これらのことから、次の2つの提案をする。

提案1 『しらこぼと』や会のHP以外の方法でも探鳥会開催情報を流す。

例1：探鳥会を開く場所の管理団体と共催探鳥会を開くことで、管理団体のHPや通信欄を使って探鳥会開催情報を流してもらう。

例2：管理団体に依頼して、PRポスターをコースに掲示してもらう。

例3：管理団体に依頼して市や町の広報に掲載してもらう。

提案2 野鳥の記事を載せてくれている新聞社に後援してもらう。

例1：地方版に探鳥会開催予定を載せてもらう。

今でも、人が集まりすぎて困っている探鳥会もあるようだ。幹事リーダーの数が足りない等々、問題は多々あると思うが、知恵を出し合って、まずは会員以外の人に探鳥会に来てもらうことから始めたら如何であろうか。

また、蛇足ながら次のことも提案したい。

初めての人に対する探鳥会での対応は、最後列にリーダーを配置し、一緒に歩いてきて貰っていることが多い。この対応は時に、鳥が逃げてしまって、いなくなったところを後ろからついていく感を与えるときがある。それでは、初心者が感じる探鳥の楽しさを半減するもので、初心者の野鳥観察の興味も萎んでしまう。

たまには、先頭に行く幹事リーダーが先頭で初心者に対応したら如何か？ これも一案かと思う。



私的自然観察会(参加者が撮影)



野鳥情報

春日部市増田新田 ◇6月22日午前8時、突然カッコウが2～3声鳴いた。至近だったのですぐさま家から飛び出し行方を追ったが見当たらず、北方から遠ざかるカッコウの音が聞こえてきた。谷原新田方面へ向かったようだ(石川敏男)。

さいたま市緑区見沼自然公園 ◇7月2日、イワツバメ1羽、この辺では初めて見た。8月2日、カイツブリ1羽。オオバン1羽、冬からずっという(小林みどり)。

さいたま市見沼区南中野公園 ◇7月13日、ハクセキレイ幼鳥1羽、歩きまわる(小林みどり)。

さいたま市見沼区大和田緑地 ◇7月22日、カワセミ1羽、池に飛び込んで、すぐに飛び出す。これを何回も繰り返す。ハンティングではなく、水遊びをしているらしい。8月1日、ハシボソガラス若鳥1羽、歩きながら盛んに地面をついたり、ほじくり返したりしていたが、やがて頭部だけのカブトムシを発見し、中身をつついて食べる。ハシボソガラス1羽、セミを捕食。嘴からセミの翅が1枚落ちる。口の中で翅と胴体を分別したらしい(小林みどり)。

さいたま市北区大宮第二公園 ◇7月22日、ハクセキレイ、シジュウカラ、スズメ、それぞれの幼鳥がすでに単独行動をしている。8月23日、カワセミ幼鳥1羽、池の畔の木にとまる(小林みどり)。

春日部市立野 ◇7月25日午前6時、水の入った休耕田にクサシギ9羽を確認。すべて完全な夏羽。他にダイサギ、コサギ、カルガモ、ツバメ、ハクセキレイ。クサシギは1枚の休耕田の中において、9羽が明らかに群れの様な行動(採餌や飛翔)をとっていた。クサシギは渡りの時期でも越冬中でも、1羽での行動が多く、ときどき2～3羽が同じ水田に居る程度と承知していたので、9羽の群れを見た時は、一瞬目を疑い、タカブシギの群れかと思ったほどだった。私の既成概念(クサシギは群れない)が見事

に覆された朝だった。後日、清棲先生の日本鳥類大図鑑で時には7～8羽の小群、まれに20羽程度の群れが確認されていることを知った(植平 徹)。

春日部市立野 北緯36.0087 東経139.7886
◇8月25日、アオアシシギ1羽、タカブシギ2羽、ヒバリシギ1羽、コチドリ30羽士、イカルチドリ1羽(長嶋宏之)。

蓮田市西城沼公園周辺 ◇7月30日、ムクドリ70羽の群れ、8月16日、50羽士の群れが3回、南西に飛ぶ、8月19日、100羽の群れが南西に飛ぶ(長嶋宏之)。

さいたま市北区芝川(石橋～鷲山橋) ◇8月1日、アオサギ若鳥1羽。カイツブリ、石橋付近に1羽、鷲山橋付近に1羽。8月30日、アオサギ1羽、川の中に立って休息。オオヨシキリ1羽、川沿いの畑から飛び立つ(小林みどり)。

さいたま市見沼区加田屋～大谷 ◇8月2日、チュウサギ1羽、嘴が黄色。8月9日、ダイサギ1羽、嘴が黄色。アオサギ2羽、農耕地の上を飛ぶ。8月24日、カワセミ幼鳥1羽、ホタルの里の湿地で水浴び後の羽繕い。イワツバメ3羽、上空通過(小林みどり)。

羽生市上新郷の休耕田 ◇8月6日～8月30日、コチドリ10～50羽十、ムナグロ1～40羽十、エリマキシギ1～5羽、アオアシシギ10～20羽、コアオアシシギ2～4羽十、タカブシギ2～5羽十、クサシギ1～5羽十。8月6日、アマサギ20羽士。8月15日、オジロトウネン1羽。8月21日、オジロトウネン1羽、ウズラシギ1羽、ヒバリシギ1羽、アカエリヒレアシシギ8羽。8月26日、アマサギ1羽、夏羽から冬羽へ移行中のため、オレンジ色のまだら模様。バン成鳥1羽、幼鳥1羽、タシギ1羽。8月30日、トウネン2羽、オジロトウネン1羽、キアシシギ1羽。タシギ属不明種1羽、飛んだときに次列風切先端の白色部がなかったのでタシギではない。ショウドウツバメ100羽十、上空を飛び交っていた群れが電線にずらりと整列。8月31日、小型カモ不明種1羽、カルガモと思われる3羽とともに上

空を飛ぶ。チョウゲンボウ1羽、トウネン3羽、このうち1羽が他の2羽より少し大きい、何回見てもやはりトウネン。オジロトウネン1羽、キアシシギ2羽、タシギ2羽（小林洋一、みどり）。

羽生市上新郷 北緯36.1639 東経139.5029

◇8月26日、アオアシシギ7羽、コアオアシシギ3羽、タカブシギ6羽、トウネン3羽、コチドリ20羽+、クサシギ1羽。8月27日、アオアシシギ10羽+、タカブシギ10羽+、ヒバリシギ1羽、エリマキシギ2羽、クサシギ1羽。8月30日、アオアシシギ5羽、コアオアシシギ3羽、エリマキシギ5羽、クサシギ2羽、タカブシギ2羽、コチドリ10羽+（長嶋宏之）。

鴻巣市大間1丁目 ◇8月7日午後5時過ぎ、2階ベランダから家内が急に私を呼ぶ。あわてて行ってみると、空の高みをショウドウツバメが渡ってゆくところだった。10分足らずの間だったが、三々五々、合わせて20~30羽±、我が家の上空を通過して行った。もっと早く気がついていたら、もっと多くの個体数をカウントできたかもしれない。すでに秋の渡りが始まっている。明日は立秋（榎本秀和）。

さいたま市見沼区猿花キャンプ場 ◇8月9日、コゲラ1羽、シジュウカラ幼鳥1羽+、メジロ3羽+が混群になっていた（小林みどり）。

春日部市一ノ割 ◇8月11日、12日、両日も午後5時40分頃、ウォーキング中に一ノ割公園に接する南西の農家のケヤキにコムクドリが6羽+、ムクドリの群れに混じっていた（石川敏男）。

さいたま市桜区秋ヶ瀬公園 ◇8月17日、カワセミ♀幼鳥1羽。幼羽が1枚、頭で風で揺れていた（海老原美夫）。

さいたま市南区白幡2丁目 ◇8月20日朝、屋敷林付近でオナガの群れが騒ぐ。小型タカ類1羽が2度3度オナガを追った。長い角尾、全長がオナガより少し大きい。ハイタカ♀成鳥。夏季には大変珍しい。ここに居ついていたものではなく、移動の途中

ではないかと思われる（海老原美夫）。

春日部市大場 ◇8月23日午後4時17分、香取神社の西側上空をコゲラ2羽が鳴いて、近くの屋敷林へ飛んで行った（石川敏男）。

春日部市千間 ◇8月23日午後5時30分頃、安之堀川と千間堀（新方川）の合流点付近の電線にとまるムクドリ群中にコムクドリ10羽+を確認（石川敏男）。

所沢市山口 ◇8月25日午後11時頃から10分間ほど、自宅にてフクロウの声を聞いた。一晩中鳴くセミの音がやや弱まり、聞こえたのかもしれない。2008年5月に次いで2度目だ（小林茂・ますみ）。

羽生市羽生水郷公園 ◇8月26日、コチドリとコアジサシは見られなかった。何処かに移動したようだ。セッカがさえずる中、オオタカがゆっくりと輪をかいて高くあがった（長嶋宏之）。

鴻巣市糠田 ◇8月27日、牛舎でシラコバト1羽、糠田で見たのは、2回目。本当に久しぶり（石井 智）。

白岡町柴山 北緯36.0463 東経139.6099

◇8月30日、コチドリ7羽（長嶋宏之）。

春日部市武里中野 ◇8月30日午後4時30分頃、電線に止まるムクドリ群中にコムクドリ10羽+を確認。この日、周辺では今年最初の稲刈りが始まった（石川敏男）。

春日部市一ノ割 ◇8月31日午後5時22分、農家の1本立ちの大きなケヤキにコムクドリが鳴き交わしながら枝移り。双眼鏡でよく見るとかなりの数。順光位置に回り1眼レフを構えた途端一斉に飛び出し、南東の一ノ割公園方面へ飛び去った。200~300羽。同日午後5時40分、一ノ割公園の南にある武里中学校校庭の北西端のハンノキに20羽±のコムクドリが休息。今度は何とか写真撮ることができた（石川敏男）。

表紙の写真

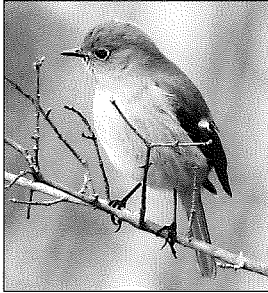
カモ目カモ科マガモ属カルガモ

昨年11月、逆光の中で水しぶきをあげていました。普通の鳥の普通の光景が好きです。

海老原美夫（さいたま市）



行事案内



ジョウビタキ(榮 武男)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所におでかけください。

初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。遠慮なく見て、楽しみましょう。

参加費：就学前の子無料、会員と小中学生 50 円、一般 100 円。

持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

松伏町・まつぶし緑の丘公園探鳥会

期日：11月3日(木・祝)

集合：午前9時、松伏町まつぶし緑の丘公園管理棟前。

交通：東武伊勢崎線せんげん台駅東口、茨城急行バス③番乗り場から松伏町役場行き 8:21 発で、「まつぶし緑の丘公園」下車。

担当：橋口、田邊、吉岡、榎本(建)、植平、野村(弘)、野村(修)、森下、進士、佐野、佐藤

見どころ：公園の池でカモやカイツブリを観察し、近隣の屋敷林で冬の小鳥や、近年めっきり減ったシラコバトを探します。解散後、みんなでお弁当を食べましょう。ご持参ください。



あれはクマタカ!? 2010年11月21日、奥日光探鳥会(山部直喜)

上尾市・丸山公園探鳥会

期日：11月6日(日)

集合：午前8時、丸山公園北口駐車場。

交通：JR高崎線上尾駅西口1番バス乗り場から、畔吉經由西上尾車庫行き7:32発で「畔吉」下車、徒歩約8分。

担当：大坂、浅見、阿久澤(キ)、阿久澤(廣)、立岩、永野、野口(由)、山野、長谷川

見どころ：いよいよ冬鳥の季節が巡ってきました。ツグミ、ジョウビタキ、シメには必ず出会えます。さらに荒川の河川敷で会える鳥たちが楽しみです。

羽生市・羽生水郷公園探鳥会

期日：11月10日(木)

集合：午前9時、羽生水郷公園第一駐車場。

交通：東武伊勢崎線羽生駅東口から、羽生市営バス手子林・三田ヶ谷ルート(ムジナもん号)8:05 発で、「羽生水郷公園・キャッセ羽生」下車。

担当：中里、新井(巖)、栗原、四分一、植平、飛田、竹山、相原(修)、相原(友)

見どころ：静かな公園も木の葉が舞い始める季節になりました。アシ原は冬の気配を感じる風が流れていきます。そんな中、久しぶりの冬鳥たちとの再会を楽しみましょう。

注意：帰りのバスの便は、14:51 発です。

さいたま市・秋ヶ瀬公園自然観察会

期日：11月12日（土）

集合：午前9時、ピクニックの森駐車場。

交通：京浜東北線浦和駅西口から大久保浄水場行きバス 8:15 発、東武東上線志木駅東口から南与野駅西口行きバス 8:13 発、南与野駅西口から志木駅東口行きバス 8:18 発で、「下大久保」下車、徒歩約8分。

担当：小荷田、佐久間、杉原、藤田(敏)

見どころ：今回はマイ・フィールドの記録法、まとめ方、発表法を勉強します。あなたの埋もれた鳥見データをまとめ、まずは『しらこぼと』に発表しませんか！

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：11月13日（日）

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷 9:09 発、または寄居 8:51 発に乗車。

担当：新井(巖)、森本、倉崎、栗原、飛田、千島、鶴飼

見どころ：冬鳥の季節到来です。着いたばかりのジョウビタキやベニマシコを探しに行くか、久しぶりのコハクチョウやカモたちに会いに行くか、当日のお楽しみです。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：11月19日（土）午後3時～4時ころ

会場：会事務局 108 号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

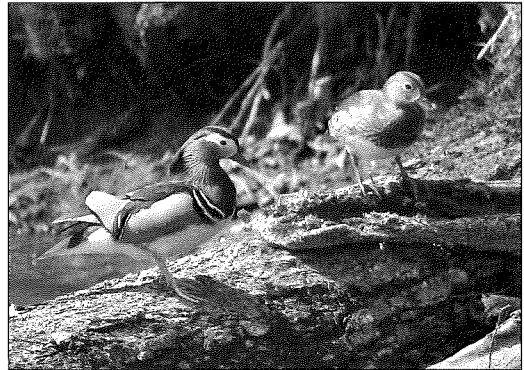
期日：11月20日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、青木、倉林、渡辺、若林、小菅、赤堀、新部、増田、宇野澤、須崎、船木、島山、柴野

見どころ：300回記念から9ヶ月、相変わらず仲良く鳥見をしている三室です。初心者も楽しい探鳥会。「鳥を見たいな」「会員になりたいな」と思っている方々を誘って、冬鳥



2011年5月19日、日光戦場ヶ原で2羽のオンドリに会いました。(田島利夫)

たちの待つ見沼田んぼへどうぞ。

春日部市・内牧公園探鳥会

期日：11月20日（日）

集合：午前9時15分、アスレチック公園前駐車場。

交通：東武伊勢崎線春日部駅西口、朝日バス③番乗り場から、春日部エミナース行き 8:41 発で「共栄大学・短大前」下車。西へ徒歩約7分。

担当：石川、橋口、吉岡、野村(弘)、野村(修)、進士、佐藤

見どころ：雑木林や屋敷林を見て、田んぼの道を歩きます。今年もツグミ、シロハラ、アオジ、シメ、タヒバリ、タシギなどの冬鳥たちが来ていることでしょう。空にはタカが舞い、林には渡り遅れの小鳥がいるかもしれません。

嵐山町・菅谷館都幾川探鳥会

期日：11月20日（日）

集合：午前8時45分、東武東上線武蔵嵐山駅西口。または午前9時15分、県立嵐山史跡の博物館駐車場。

交通：東武東上線川越 7:57 発、寄居 8:04 発に乗車。

担当：千島、大澤、青山、新井(巖)、中村(豊)、林、鶴飼

見どころ：雑木林でアオジ、シメ、ツグミを探し、河川敷・畑でカシラダカ、ジョウビタキ、ベニマシコを探しましょう。空には

オオタカ、チョウゲンボウ、ノスリが飛んでくれるかもしれません。

栃木県・奥日光探鳥会 (要予約)

期日：11月20日(日)

前月号でお知らせしました。

さいたま市・見沼自然公園探鳥会

期日：11月23日(水・祝)

集合：午前8時15分、JR大宮駅東口「こりすのトトちゃん」像前。または午前9時15分、見沼自然公園駐車場。

担当：浅見、小林(み)、兼元、松村、赤堀、船木、野口(修)、山田(東)、柴野

見どころ：見沼自然公園をスタートとゴールに、周辺の農耕地、雑木林、水辺などで鳥を探します。今年迎えてくれるジョウビタキは♂かな♀かな、それとも両方かな？ 道路は平坦、トイレ完備。お子さん、ご婦人、ご年配の方まで、どなたでも歩きやすいコースです。

本庄市・坂東大橋探鳥会

期日：11月23日(水・祝)

集合：午前9時20分、老人福祉センター「つきみ荘」北側。「つきみ荘」の駐車場とトイレをお借りできるようになりました。

交通：JR高崎線本庄駅北口から、国際十王バス9:06発、伊勢崎行きで「坂東橋南詰」下車。

担当：新井(巖)、倉崎、小池(一)、小池(順)、小淵、鶴飼、千島

見どころ：晩秋の河原でオオジュリン、ベニ



2011年9月19日、秋のシギ・チドリ調査

マシコを探し、猛禽類の飛翔を見上げながら、今年もやってきたカモたちに会いに行きましょう。

志木市・柳瀬川探鳥会

期日：11月26日(土)

集合：午前9時、東武東上線柳瀬川駅西口、スーパー・サミット前の円形広場。

担当：持丸、佐久間、高草木、志村、神場、中村(治)、中村(祐)、荒木、杉原、藤澤、山口

見どころ：冬がそこまでやって来ています。柳瀬川も台風や大雨、河川改修の影響で川の流れ、中州の状態が1年前と大分変わっていますが、冬鳥たちは元気な姿を見せてくれるでしょう。土手を散策しながら探しましょう。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：11月27日(日)

集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。交通：西武新宿線本川越8:44発、所沢8:38発に乗車。

担当：長谷部、藤掛、高草木、中村(祐)、山本(真)、久保田、石光、山口、星、水谷、間正

見どころ：夏の猛暑と残暑を耐え抜いて来たご褒美は何でしょうか。ジョウビタキ、ルリビタキ、シロハラ、それともまだあったこともない鳥たち？

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：11月27日(日)

集合：午前8時40分、JR宇都宮線蓮田駅東口バス停前。

担当：玉井、吉安、田中、長嶋、長野、菱沼(一)、榎本(建)、青木、赤坂

見どころ：黒浜沼周辺のアシ原、屋敷林は共に晩秋の装いとなり、北国から戻ってきた冬鳥たちで賑やかになります。水辺にカモやカワセミ、アシ原にホオジロ類、そして大空にオオタカが飛んでくれたら最高です。



行事報告

6月12日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 32名 天気: 曇

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ カルガモ チョウゲンボウ コジュケイ キジ キジバト ホトトギス カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨシキリ セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (28種) (番外: ガビチョウ) テーマは子育て中の野鳥の観察。しかし土手に上がっても幼鳥や餌をくわえている鳥は見えない。かろうじてカワラヒワ、ホオジロがさえぎってくれた。上空でチョウゲンボウが帆船、ゴルフ場の中をなぜかキジ♀が1羽走ってくれた。ホトトギスの声をたよりに遠くの枝の中を探すと後姿が見え、全身を震わせ力を振り絞ってさえぎっていることに感動。河原の池のカイツブリは例年より子育てが早く、幼鳥はもう自分で潜ったりしていたが、まだ親に餌をねだっていた。オオヨシキリのさえぎっている姿を堪能、モズの幼鳥、最後にカワセミが出て終了。(千島康幸)

6月18日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 10名

江浪功、海老原教子、大坂幸男、佐久間博文、柴野耕一郎、志村佐治、増尾隆、松村禎夫、吉原早苗、吉原俊雄

6月19日(日) さいたま市 三室地区

参加: 61名 天気: 晴

カイツブリ カワウ カルガモ オオタカ コジュケイ キジ コチドリ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ ウグイス オオヨシキリ セッカ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (24種) (番外: ドバト) アジサイの花を見ながらの探鳥会になり、代用水に9羽の子を連れたカルガモに全員が満足する。タカが遠い鉄塔に止まっていて、識別に花

が咲いた。飛翔して、オオタカに決定。キジの声と参加者の笑い声が響く梅雨時の楽しい探鳥会になった。(楠見邦博)

7月3日(日) 群馬県板倉町 渡良瀬遊水地

参加: 67名 天気: 晴

カワウ ヨシゴイ ササゴイ ダイサギ アオサギ カルガモ トビ オオタカ キジ アジサイ コアジサイ キジバト カッコウ ヒバリ ツバメ モズ ウグイス コヨシキリ オオヨシキリ セッカ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (27種) (番外: ドバト) 蒸し暑い中、大勢の参加者。定番の7種が出てくれるか心配であったが、ヨシゴイ、ササゴイもちょっとだったが姿を見せてくれ、おまけにアジサイも。出なかったのは熱中症患者で、結果オーライだった。(内田孝男)

7月10日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 24名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ カルガモ トビ コジュケイ キジ キジバト ツバメ ヒヨドリ ウグイス セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (21種) (番外: ガビチョウ) 朝からピッカピカのカンカン照り。それでも熱心な会員が集まった。土手に上がると変な声が…。声の主は雄のキジだったが、暑さで声がしゃがれてしまったのか? ツバメは盛んに飛び回るが、他の鳥はほとんど出ない。河原近くの林でようやくシジュウカラとメジロの幼鳥たちが現れた。水辺では先月見られたカイツブリの雛が見当たらず、親鳥が新しい卵を抱いていた。早めに切り上げて、日陰まで戻って鳥合わせ。この日の熊谷の最高気温は37.5℃。熱中症になる人も無く、無事に終わったのは何より。(新井 巖)

7月16日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 10名

江浪功、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、柴野耕一郎、志村佐治、藤掛保司、増尾隆、松村禎夫

7月17日(日) さいたま市 三室地区

参加: 50名 天気: 晴

カルガモ ゴイサギ コジュケイ イソシギ コアジサシ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ セッカ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (21種) (番外: ドバト) 熱中症対策の短いコース、短い時間の探鳥会になったが、カワセミなどの幼鳥が出て、子育て鳥談議がにぎやかだった。久しぶりにコアジサシが飛翔して満足する。後は冷やされた博物館で藤掛代表の「アラスカの鳥の旅」の話聞いた夏の探鳥会になった。(楠見邦博)

7月18日(月、休) 滑川町 武蔵丘陵森林公園
参加: 51名 天気: 晴

カイツブリ カワウ キジバト カワセミ コゲラ ツバメ セグロセキレイ ヒヨドリ ウグイス エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ スズメ ハシボソガラス ハシブトガラス (17種) (番外: ガビチョウ) 前日までより2℃ほど気温が下がったとはいえ、10日連続の猛暑日となった森林公園。なるべく木陰になる道を選んで歩いたが、ここの暑さは半端ではない。西田沼ではカンカン照りの日差しの下でカイツブリが営巢中。ふれあい広場手前のクスギの木で国蝶のオオムラサキを見つけた。樹林の中はガビチョウの声が断然多く、ウグイスがこれに続く。5日前から咲き出したヤマユリを見に梅林に寄った後、野草コースに回った。運動広場手前の樹林でかすかに鳥の声。止まってゆっくり探すと高い所によくヤマガラ、シジュウカラ、エナガ、メジロ、コゲラの姿。下見の時に予約しておいたアオゲラやイカル、キビタキは夏バテしたのか、とうとう出てこなかった。皆さんお疲れ様でした。

(中村豊己)

7月24日(日) 狭山市 入間川
参加: 30名 天気: 曇

カイツブリ ゴイサギ ササゴイ ダイサギ カルガモ キジバト ヒメアマツバメ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (24種) (番外: ドバト) 今回は入間川の水量が多く水辺の鳥たちが少ない。イソシギ、カワセミ、イカル

チドリなどいつもの仲間が見られない。今年は5月、7月ともササゴイがよく見られた。コース内に数個体(3~4羽)いたようだ。今までで1番多いかも。個体数は記録していないが、増えたと感じる鳥、減ったと感じる鳥、10数年でずいぶん変わった。(長谷部謙二)

8月7日(日) 北本市 石戸宿

参加: 37名 天気: 晴

アオサギ カルガモ トビ オオタカ ツミ サシバ ハヤブサ コジュケイ キジバト カワセミ コゲラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (22種) (番外: ガビチョウ、ドバト) 晴天で弱風の高温多湿の悪コンデションでの探鳥会。そうとわかっているのに37名もの参加者。オオヨシキリの声も無く、ガビチョウの声もほとんど無く静かだ。暑さのため歩いている一般の方も少なく、気兼ねする事も少なくて済んだ。8月の探鳥会で鳥を期待する人はいないと思うが、それでも参加する人が大勢いると、出てくれるものなのだ。エドヒガンザクラの前で上空を旋回する2羽のサシバ。その後で、上空を一直線に通ったハヤブサ。荒川の河川敷では、オオタカとツミの旋回。トビも1羽飛んだ。高尾の池では、学習センターの11時方向に2羽のサシバの旋回。(吉原俊雄)

8月14日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 17名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ アオサギ カルガモ トビ コジュケイ キジバト ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ ウグイス セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ スズメ ハシボソガラス ハシブトガラス (20種) (番外: ガビチョウ) 「暑いぞ熊谷」朝から気温がうなぎ上り。手元の温度計がすでに33℃を示している。スタートして土手に出ると、この暑さの中ツバメは気持ちよさそうに行き交っている。ゴルフ場の榎の天辺ではホオジロが元気にさえずっている。遠くではコジュケイが鳴いている。池に出るとカイツブリが愛らしく振舞っていた。その姿が一服の清涼剤となった。河原ではサギ類がゆったりと採餌していた。最後は木陰を求めての鳥合わせとなった。(中里裕一)



● THE WILD BIRD CALENDAR 2012



今回のテーマは「多様な風景 多様な野鳥」。カレンダーを通して、日本の様々な自然環境をお楽しみください。

通常の販売価格 1,470 円、会員割引価格 1,250 円。

年内に売り切れる目安の部数を仕入れます。売り切れの場合、再仕入れはしませんので、お早めにお求めください。

● 「福島を食べて応援！」商品販売中

日本野鳥の会本部は、福島県が毎週行う放射性物質のモニタリング調査と、生産者や加工業者が検査を行った場合はその検査報告書を確認しています。生産者や加工業者が検査を行っていない商品については、民間の検査機関に簡易検査を依頼し、国の暫定基準値を超えていないことを確認した上で販売し、福島への復興支援を行っています。

当会もその一部を仕入れますので、探鳥会で目にとりましたら、手にとってごらんください。本部のインターネットショップ「Wild Bird」からもお求めいただけます。

● 行事案内欄の案内文変更

事務局に、「初めて探鳥会に参加したいが、どうしたら良いだろうか」とのお問い合わせが続きました。そこで、前月号から、行事案内欄冒頭の案内文を少し変更しました。引き続き、分かりやすいご案内を目指します。

● 訃報

リーダー新井勇吉さん(川口市)が、9月7日に永眠されました。享年 65。さいたま市民家園周辺探鳥会などで幅広くご指導いただきました。心からお礼申し上げ、ご冥福をお祈りします。

● 会員数は

10月3日現在 1,969 人。

活動と予定

● 9月の活動

9月10日(土) 10月号校正 (海老原美夫・大坂幸男・小林みどり・志村佐治・藤掛保司・長嶋宏之・山田義郎)。

9月18日(日) 役員会(司会：浅見徹、各部の報告・全国密猟対策連絡会シンポジウム出席者、年末講演会講師など)。

9月20日(火) 「埼玉会報だけの会員」に向け 10月号を発送 (倉林宗太郎)。

● 11月の予定

11月5日(土) 編集部・普及部・研究部会。
11月12日(土) 12月号校正 (午後4時から)。
11月19日(土) 袋づめの会 (午後3時から)。
11月20日(日) 役員会 (午後4時から)。

編集後記

公式にはカウントされない台風 15 号による負傷者となった。簾を取り込もうと雨で濡れたベランダで滑って転倒、膝をひねった。病院には行っていないが、10 日経っても痛みが残っている。毫碌しはじめた頭を打たなかっただけでも幸いだったか。(山口)

あの暑さはなんだったのかと思うくらい気温が下がってきた。荒川土手をサイクリングしていると、時折トンボの大群や南下中のツバメなどに出会う。頑張れよと心の中で声援を送りながら、自分もこの世界に生かされていることを実感する。(森本)

しらこぼと 2011 年 11 月号(第 331 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉 郵便振替 00190-3-121130
 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号
 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 http://35.tok2.com/wbsjsaitama/
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル
 日本野鳥の会 会員室 TEL 03-5436-2630 FAX 03-5436-2635 gyomu@wbsj.org
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社